－ 受賞者の声 －

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| グランプリ |  | 大阪工業技術専門学校 |
| この度はグランプリという光栄な賞を頂き、驚きとうれしさでいっぱいです。  今回のコンペティションでは、これまで学んだことを全て出し切り、自分自身が歳をとってからもずっと好きでいられる集会所を目標に設計しました。北千里周辺は本当に自然が多くて、初めて古江台の集会所（現在の）に行った時、こんなにも視界が開けていて、空が近く感じるところが大阪にあるんだって思ったほどでした。  なので、この景色は大事にしたいと思い、今回の集会所を設計しました。  作品の完成に至るまでご指導、ご協力して頂いた先生方や両親、友人に心より感謝しております。  今回の経験を将来に活かし、これからも精一杯努力していきたいと思います。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 準グランプリ |  | 大阪工業技術専門学校 |
| この度は、準グランプリという大変光栄な賞をいただき、ありがとうございます。  まさか、私がこのような賞をいただけるとは思っていなかったので、とても驚きました。  このコンペに取り組めるのは最後だったので、悔いの無いよう、利用される方々のことを  考えながら、自分らしさを大切にして臨みました。  この作品に対する想いとして、利用される方々が、自分にとって居心地の良い場所を見つけ、それぞれの過ごし方をしていただきたいと考えました。また、集まるときはさくらの木が中心となり、皆が一つになれるよう考え計画しました。  このコンペに取り組むことによって、要求される図面やテーマ等、仕事として実戦に近い体験ができ、とても勉強になりました。お仕事では、こういったことの延長線上にあるのかなと思い、とても将来に役立つ経験となりました。  先生にもいろいろなアドバイスをしていただき、またクラスのお友達からも沢山アドバイスをいただいてここまで来ることができました。私一人ではこのような作品にはなっていなかったので、関わって下さった方々にはとても感謝しています。ありがとうございます。  このような賞をいただき私にとって、大変自信になりました。貴重な体験をたせていただき、本当にありがとうございました。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 優秀作品賞 |  | 堺市立堺高等学校　定時制課程 |
| この度は、優秀作品賞という大きな賞を頂き、誠にありがとうございます。  昨年に続き、このように賞を頂けるとは思っていなかったので自分が入賞している事を知った時、大変驚きました。  今年のテーマは、「季節を感じる集いの場」なので花、香り、実りそして紅葉する木々を植えるようにして室内と室外から四季を感じられるように設計しました。また、CLTの使用、ウッドチップ舗装路など人や環境にやさしい設計を目指しました。  今後も建築について学び、作品作りにも励みたいと思います。本当にありがとうございました。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 優秀作品賞 |  | 修成建設専門学校 |
| 今回、「優秀作品賞」という光栄な賞を頂き感謝しております。そして何より、支えてくれている家族に感謝します。  作品内容には自信がありましたが、詰めが甘い部分もあり、まだまだ猛省すべき点も発見できました。  コンペに参加できたからこそ、様々な学びがありました。  この賞に甘んじることなく、建築・設計の道を歩みたいと思います。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 佳　作 |  | 大阪市立工芸高等学校 |
| 今回、高校生最後のコンペティションで佳作という光栄な賞をいただき、ありがとうございます。  私は今まで集会所を利用したことがなかったため、集会所で利用者はどのように過ごすのだろう？集会所に対してどう感じているのだろう？と考えるところからスタートしました。そうして自分なりに考えをめぐらせていってつくった作品だったので、とても嬉しいです。  今回の経験を活かしてこれからの大学での課題に取り組み頑張っていきたいです。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 佳　作 |  | 修成建設専門学校 |
| 今回は、あすなろ夢建築　大阪府公共建築設計コンクールにおいて佳作を頂きありがとうございます。  この作品では「大樹」をコンセプトにして何度もアイデアを練った結果、自分の納得できる作品を提出することが出来ました。  沢山の先生方にアドバイスをもらいながらも自分の作品を作り上げることの難しさと楽しさを感じることができました。  今後もこの経験を活かして建築について勉強していきたいと思います。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 佳　作 | ・ | 大阪建設専門学校 |
| この度は、第 31 回「あすなろ夢建築」大阪府公共建築設計コンクール「佳作」に選んで頂き誠にありがとうございます。  まさか私たちが選ばれるとは思ってもみませんでしたので、まず、驚いたというのが正直な感想です。 そして、受賞作品が Web 上で掲載されたり、学校などから連絡がきたりすると実感とともに、嬉しさや喜びがこみ上げてきています。  私たちは、今回の作品を制作する上で「季節を感じる集いの場」というテーマの「季節を感じる」という点に 共感しました。現地に足を運んだ時は、秋で気候が良く、木々の隙間から差し込む西日が秋のムードをグッと引き上げてくれていました。四季にはそれぞれの場面や気持ちを反映しているそんな風に思える瞬間でした。そこで、春には春ならではの場面や緊張感を映し出せるような、夏には夏の躍動感を感じれるような、秋にはどこか切ない寂しさの見えるような、冬には寒さの中に透き通るような空気感を、というように春夏秋冬を目や耳や匂いや、日差しや風や色といったもので心にスッと季節が入る、そんな集会所を作りたいと思い制作しました。  特に春には特別な思い入れがあり、私たちの2年前は、春がありません。卒業式も入学式もなく、始まりは夏でした。また、このような事があっても季節を感じるようなものになればいいなと思っています。  制作していく上では、コロナの影響で1か月制作ができない時もありましたが、先生方のサポートもあり応募することができました。  私たちの作品を評価し選んでくださった関係者の皆様、大変ありがとうございます。この賞を励みにこれからの 新しい道へ歩いていきます。誠にありがとうございました。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 奨　励　賞 |  | 大阪市立都島工業高等学校 |
| 今回、このような名のあるコンペにおいて賞を頂き、大変嬉しく思います。ありがとうございます。  　高校生活最後に挑戦するコンペだったので、これまで三年間学んできた建築の知識や経験をたくさん詰め込み、自分が納得いくまでやり切ろうという決意で作品製作に臨みました。  　今まで経験したコンペの中では一番条件が厳しく、考えた案が設計条件を満せるまで、何度も試行錯誤しながら先生方に相談したり、年末年始も時間を割いて検討をおこなったりと、多くの苦労がありました。  　でも、受賞の一報を聞いたときは、結果がちゃんと出せた、時間を惜しまずに取り組んで良かった、と思いました。  　この結果は自分の努力だけでなく、互いに切磋琢磨してきた同級生の存在や先生方の励ましがあったからこそ叶ったことだと思っています。だからこそ「高校生活最後の作品で受賞し、恩返しをします」と口にした意気込みを、有言実行できてとても嬉しかったです。    　今後私は、大阪府建築部への所属が決まっています。  　私は建築部の説明会の際に、担当の方に「今回のあすなろ夢建築では作品を応募する立場でしたが、次は是非、このコンペを盛り立てていく立場として携わりたい」とお伝えしました。  　この名誉ある賞を頂いたことを機に、私はあすなろ夢建築の受賞者と運営者、両方の経験を持つ職員として、誇りを持って仕事に励んでいきたいと思っています。  　また、この集会所を計画するにあたっては、公共施設のことやバリアフリー、ユニバーサルデザインのことについて調べる機会が多くありました。この知識もさらに深め、これからは府民の方々の役に立てる建築物をたくさん考えていきたいです。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 奨　励　賞 |  | 大阪工業技術専門学校 |
| この度は奨励賞を頂き有難う御座います。  私は面白い建築を見ること、想像することが好きです。今までの課題でも少し変わった作品を創ってきました。それを学校外でどの様な評価をされるのかというのに興味があったので、今回自分が面白いなと思える作品で臨みました。そして、この様な形ある評価を頂きとても嬉しいく存じます。  将来は、店舗設計に携わりたいなと考えています。住宅に比べ、話題性が必要と店舗では、デザインを重視したインパクトあるものをを提案する機会が多いと考えるからです。  この様な賞を頂き、さらに建築へ対する思いが強まりました。様々な作品を見て学び成長していきたいとおもいます。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 奨　励　賞 |  | 近畿職業能力開発大学校 |
| この度はこのような素晴らしい賞をいただき光栄に思います。  今回のコンペティションには学年最後に取り組みましたので自分の得意な模型を外観・内観パースとして使用しました。時間がある限り細かなパーツを付け加えていきましたので建物の様子が想像しやすい作品になったのではないかと思います。  また、課題に取り組む中で更に自分の課題を見つける事が出来ました。  今後もこのような設計課題に取り組む際には、今回得た反省点や課題を踏まえて自分の苦手なところにも挑戦していきたいです。 | | |